



謹んで、新年のご挨拶を申し上げます  
皆様にとって、幸多き一年でありますように

2011年は、本当に大変な年でした。国内では、3.11.東日本大震災、福島第一原発事故。計画停電。止まらぬ超円高。海外では、「アラブの春」チェニアやエジプトなどで政変。タイ洪水。欧州危機、等々。数々の自然災害。政治と経済の変動・変化。本当に大変な年でした。

さて、今年はどういう年になるのでしょうか。

例年恒例となっている経済誌の特集では、こんなタイトルで表現されています。

### 〈週刊エコノミスト〉12/27号「日本経済総予測2012」

「2011年3月に日本を襲った巨大地震と大津波は世界中に衝撃を与えた。福島第一原子力発電所の事故は「電力危機」という新たな事態を引き起こし、社会構造を根本から揺るがしている。」「最大リスクは電力不足」「円高が追い打ちをかける」

### 〈週刊東洋経済〉12/24-31号「2012大予測」

#### 2012年の5大テーマ

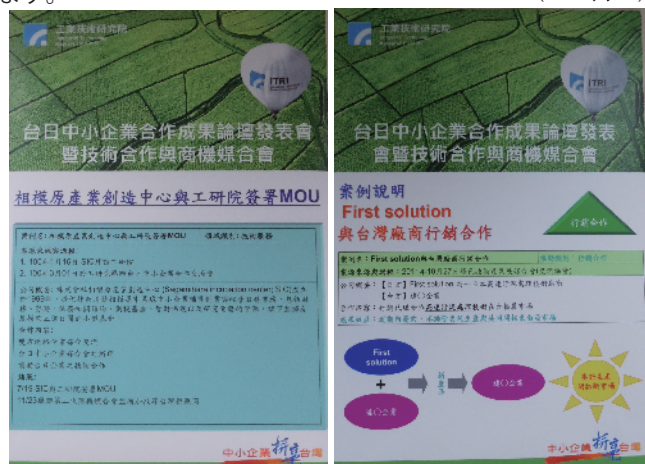
1. 欧州崖っぷち。景気後退で混迷長期化。量的緩和でも収束せず。
2. ブロック経済化。疑心暗鬼は収まらず。TPP紛糾の禍根。
3. 広がる格差。二極化激しい米国社会。3人に1人が貧困層に。
4. 政治の年。世界で相次ぐ指導者選挙。政治経済はどう変わる？
5. 電力激震。エネルギー政策大転換。「脱原発」は実現するか。

### 〈週刊ダイヤモンド〉12/24号「総予測2012」

「東日本大震災からの復興、福島原発事故被害者への賠償・救済、消費税アップやTPP（環太平洋経済連携協定）参加の是非、社会保障制度改革や行政改革など国内には難問・課題が山積み。海外では欧州危機が連鎖した世界景気の後退、米国・中国・ロシアと周辺の大国で首脳交代期を迎えるなど環境激変が予測される。」

いずれにしても、先の読めない、とても難しい環境にあることは間違いなさそうです。

さて、昨年SICでは、新しい事業分野にチャレンジいたしました。「海外販路開拓支援」事業です。関東経済産業局の補助を受け、台湾工業技術院（ITRI）のご協力のもと、昨年3月にSICや県内インキュベーションセンターの入居企業など10社が参加した「SIC台湾ビジネスマッチング」を実施いたしました。11月には、ITRIと台湾經濟部との共催事業として、SIC入居企業と地域企業の4社の参加により、「第2回SIC台湾ビジネスマッチング」を実施しました。2回のビジネスマッチングの成果としては、すでに契約からリピートした事例、現在進行中の事例も含めて、複数の企業でビジネス展開が進行しています。（つづく）



↑台湾にて配布されたビジネスネットの様子  
→第二回台湾ビジネスマッチングの様子





(ㇿ 表面からつづく)

これらの取組の中で、7月19日には、ITRIとの相互連携の協定を締結。さらに11月には台湾でのビジネス経験豊かな田中亮次さんを所長とした「SIC台北ビジネスセンター」を開設いたしました。



台北ビジネスセンター表札

日本企業の高い技術力と台湾企業のビジネスやマーケティングの力を合わせてアジア市場を攻めようとする台湾の強い意志を感じ取った一年でした。

また、SICの新しい施設「SIC-3 i-Lab.」が、12月に完成いたしました。「ものづくり成長産業支援施設」との位置づけで、試作・量産化などの事業化支援に加えて、技術交流、共同開発などのサービスを行うことを目的とした施設です。創業期から成長期に移行する「独創的な技術を持つものづくり企業」の集積を図りながら、次世代のリーディング産業を創造いたします。



SIC-3 ロゴマーク

さらに、入居者の皆様や地域企業の皆様に、SIC事業やサービスをより便利に使っていただくために、SICホームページのリニューアルを実施いたしました。トップページのイメージも一新され、わかり易くなったのではないかと考えています。

私たちSICは、企業理念である「総合的なインキュベーション活動を通じ、地域経済の発展に貢献いたします。」を実現するために、多様な事業に取り組み、継続的に努力をしていく所存です。

今後とも、皆様のご指導とご協力をお願いいたします。新しい年が、皆様方にとって幸多い年でありますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

株式会社さがみはら産業創造センター  
代表取締役社長 中嶋 隆

## 2012年1月

【今月の経営スケジュール（3月期決算の会社参考）】

「かわせみの家」さん出店日

経理：12月源泉税・地方税納付、扶養控除等申告書提出、給与計算・試算表作成  
税務：棚卸資産税申告、合計票提出、給与支払報告書提出

日	月	火	水	木	金	土
1 元旦 SIC 年末年始お休み (12/29 ~ 1/3)	2 振替休日	3	4 会議室3月分 予約受付開始 ゴミ収集開始日	5	6	7
8	9 成人の日	10 *SIC-1 エレベーター点検	11 SIC-2 空気環境測定	12	13 SIC-1 自動ドア点検 SIC-1 ガラス清掃	14 経営塾 SIC-1 床面定期清掃
15	16	17 SIC-3 竣工式	18	19	20	21
22	23	24	25	26 第2回 燃料電池 研究会 & 懇親会	27	28
29	30	31	1 会議室4月分 予約受付開始	2	3	4 経営塾

\* エレベーター点検 9:30~11:00の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井（内線 1116）まで  
SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

## 入居企業ピックアップ

### ●今月の掲載記事紹介

12月・1月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

12月26日(月) **株式会社ベリフォア**  
神奈川新聞 「LSI設計評価に新しい検証手法サービス」

1月1日(日) **株式会社QRS**  
相模経済新聞 「コージェネ核に、事業内容に応じたエネルギーのベストミックスを提案」

## 入居企業の皆様へご案内

### 1月の販売予定日 in SIC

**かわせみの家**

<http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



**12日(木)**

なくなり次第終了です。

クッキーやケーキを販売します

営業時間 11:30 ~ 13:00

かわせみの家では、毎週火曜日と金曜日に弁当の配達をしています。(450円。大盛り500円)

ご注文は、当日の朝10時まで受付しております。

TEL: 042-783-1333

今年もよろしくお願いたします。

6日のメニュー  
カレーライス、コールスローサラダ、  
煮物、グレープフルーツゼリー



## ご案内

### \*SIC 経営相談を実施しています\*

\*\*いつでもお申込み、お問い合わせください\*\*

~こんな相談が寄せられています~

- どのように事業継承するか迷っている
- 新製品を開発したいので特許を取得したい
- 商品のパッケージを一新したい
- 就業規則や賃金規定を整備したい
- 人事労務関係
- 裁量労働制の導入についての注意点
- 株式譲渡について
- 資金繰り、収支計画について
- 製造委託契約について
- 代理店契約について などなど…

まずはご相談ください。インキュベーションマネージャーやアドバイザーがお話を伺います。

※1案件につき、1時間程度とさせていただきますので、ご了承ください。

※ご相談内容に応じて専門家相談を行います。

※ご相談内容の機密は保持いたします。

<お申込方法>

SIC ホームページ ([www.sic-sagamihara.jp](http://www.sic-sagamihara.jp)) からお申し込みください。

<お問合せ先・お申込先>

(株)さがみはら産業創造センター 企画事業部

住所:〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21

電話: 042-770-9119

## 私の好きな漢字!

### 【株式会社シンフォディア・フィル 久留生好さん】

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

今月号ではSIC-1 213号室に入居されている、株式会社シンフォディア・フィルの久留生さんにインタビューしました。

(株)シンフォディア・フィルは、センサを基軸にした次世代端末とクラウドサービスに向けた研究、それに関係した受託開発サービスを提供するデジタルソリューション事業を行っている会社です。その他に、海外ベンチャー企業や国内スタートアップ企業向けのビジネスをサポートするセールス・マーケティング、技術コンサルティングサービスの提供を行ったり、大学などの教育機関にむけた、実践的組み込みシステム教育用のカリキュラムと教育ツールの開発・製造・運営といった技術教育支援事業等も行っています。

その中で、久留生さんは総務全般と、コンサルティング業務を担当していらっしゃいます。

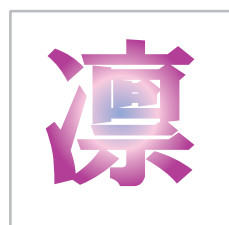
好きな漢字は『凜』。

以前から和装に興味があったという久留生さん。

去年はおばあ様に習い、浴衣を一人で着られるようになったそうです。今年はぜひ、着付けもおぼえていきたいとのこと。そして、着物の似合う【凛】とした女性になりたいとの思いををこめて、この漢字を選んでくださいました。

七五三・卒業式・成人式とも赤い着物だった久留生さん。「新しい着物を選ぶ際には、シックな色合いの大正ロマンなものを探したい」と嬉しそうに話してくださいました。

終始にこやかに、そして真摯に受け答えして下さった久留生さん。着物姿をぜひ拝見したいと思いました。



紫色が好きという久留生さん。

選ばれるとしたらこんなお着物でしょうか。



# 証言で綴る SIC の歴史 ～ SIC 経営塾 ～

株式会社浜銀総合研究所  
取締役・経営コンサルティング部長  
寺本 明輝 (明るく輝く)

— 第2回 (2回連続でのご紹介です) —

SIC経営塾には、10年間で述べ約90名の塾生にご参加いただきました。塾生は、役職で見ると「社長が3割、役員が3割、管理職が4割」、業種では「製造業が7割、非製造業が3割」。組織規模では「ベンチャー企業含む中小企業」が中心となっています。また年代は、30代から60代と幅広く、女性経営者も5名のご参加をいただきました。

このように、多様性、異質性を持った人材の集まりが、SIC経営塾の一つの特長になりつつあります。その一方で、塾生の問題意識も各種各様であり、それぞれの期待に応えられたかと言うと自信がないのが正直なところですよ。

しかしながら、その都度、SICの中村さん、飯山さんと相談しながら、合宿の開催時期、講義の進め方などを工夫しつつ、また講義に使用する資料は、1期あたりパワーポイントで千枚余使用しますが、毎年見直しを行い、内容的にも少しずつ進化してきたように思います。

そして何よりも、塾が終了した後に、塾生間で同期会を開催したり、塾生の方から、「黒字転換できました」、あるいは「社長と上手くいかなくて…」など様々なご報告やご相談をいただいたりすると、SIC経営塾のつながりが持続していることを実感し、大変嬉しく思います。

ノーベル賞を受賞したH・ベルクソン(仏・哲学者)は、主著『時間と自由』の中で、時間には、「空間化された時間」と「純粋な本来の時間」の二つがあり、人間が経験しているのは、数で数えられる、つまり時計で測る時間ではなく、数では測れない人間の内的、根源的な時間いわば経験の流れ(純粋持続と呼ぶ)と論じています。

SIC経営塾の10年を振り返るとあつという間に過ぎてしまった気がします。また、塾生の方に再会すると、不思議と当時のSIC経営塾の場に戻ったような感覚が蘇ります。これこそ、いわば純粋持続と呼べるものではないでしょうか。

すみません。いつものSIC経営塾のように理屈っぽくなってしまいました(笑)。要は、SIC経営塾の10年は、「過去」ではなく、「現在から未来」への流れと位置付けられるものと思います。

3月には、SIC経営塾の合同同期会(仮称)が予定されています。是非、未来に向けて多くの人で新しい流れを作ればと願っています。



2011年7月8日～9日 経営塾合宿にて

## 山本のめし屋レポート

台湾 台北市 小籠包の店「京鼎樓 (ジンディンロウ)」

めしやレポートも海外進出です。

台北にある小籠包のお店を紹介します。SIC スタッフの定宿「K-Hotel」のフロントに教えてもらったお店です。

日本でも有名な元祖小籠包「鼎泰豊 (ディンタイフォン)」で修業をつんだ陳シェフが独立してつくったお店だそうです。店内は庶民的で台湾らしい風情が漂っています。いい感じですよ。

ここの特徴は、「さっぱり」した味。肉もスープも上品で、あっさり仕上がった小籠包がとても美味しい。小籠包以外にもたくさんメニューがあります。

旅行やビジネスで台北に行ったら、台湾らしい庶民的な雰囲気の中で美味しい小籠包を堪能してください。



この写真右端のおばちゃんは日本語が通じないのに会話ができます！とっても楽しく食事ができること請け合いです。



■所在地 台北市長春路47號 ■交通・アクセス MRT 中山駅から徒歩約10分 ■Tel. 02-2523-6639

## 編集後記

あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしになったでしょうか。仕事も始まりお正月気分も抜けましたが、七草粥や小正月、鏡開きなど、まだまだ1月の行事は続きます。これからは冬本番。七草や小豆を食べ、ご馳走に疲れた胃腸をいたわり、風邪などひかぬようにご自愛ください。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株) さがみはら産業創造センター (SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: [koho@sic-sagamihara.jp](mailto:koho@sic-sagamihara.jp)